

第 92 期 中間報告書

自 2022年4月1日 至 2022年9月30日



Kasai

河西工業株式会社

証券コード No 7256

株主の皆様へ

河西グループは
誠意と新しい技術の創造によって
価値ある商品、サービスをグローバルに提供し、
顧客、株主、従業員をはじめ、
全ての関わる人々の幸福を実現します。



代表取締役社長
社長役員

渡邊 邦幸

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社第92期第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国内需が総じて弱くマイナス成長となり、中国は上海ロックダウンの影響によって低成長となるなど、景気回復ペースが鈍化しており、いずれの地域でも、ウクライナ危機などによるインフレや金融引き締めの影響などで一段の減速が見込まれるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

我が国経済におきましても、景気は緩やかに持ち直しているものの、ウクライナ危機の緊迫化による資源価格上昇や円安による物価上昇が景気を悪化させるリスクが懸念されます。

こうした中、当社グループの関連する自動車業界は、自動車の生産制約の影響が薄らぎつつあることなどを受けて持ち直している一方で、金利上昇による世界経済の

減速、新型コロナウイルスの新型種の発生・拡大、資源価格高の継続、世界的な物流の混乱の再発や人手不足による供給制約などが懸念されております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、766億90百万円と前年同四半期比16億26百万円の増収（+2.2%）となりました。営業損失は81億54百万円（前年同四半期は43億94百万円の営業損失）、経常損失は65億55百万円（前年同四半期は33億23百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、56億59百万円（前年同四半期は59億62百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

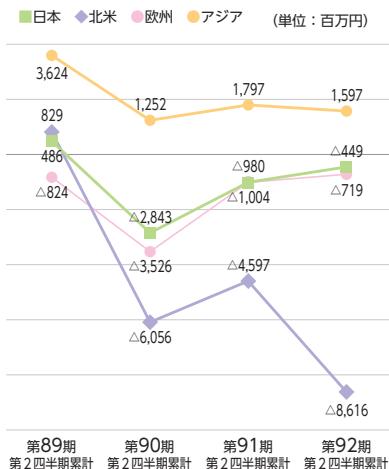
2022年12月

セグメント別業績

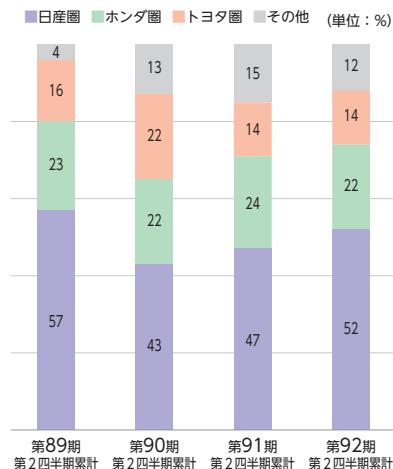
セグメント別売上高（連結）



セグメント別営業利益（連結）



得意先別売上シェア（連結）



（日本）

新型コロナウイルス感染症の影響があった昨年と比べ主要得意先の生産台数が増加したことにより、売上高は203億63百万円と前年同四半期比38億9百万円の増収（+23.0%）となりましたが、セグメント損失は4億49百万円（前年同四半期はセグメント損失10億4百万円）となりました。

（北米）

主要得意先の生産台数の増加や為替の影響により、売上高は351億20百万円と前年同四半期比42億58百万円の増収（+13.8%）となりました。しかしながら、原油価格上昇に伴う原材料費の高騰や外部環境の変化による物流費及び労務費の上昇に加えて、新規車種立ち上げ関連費用の増加、為替の影響により、セグメント損失は86億16百万円（前年同四半期はセグメント損失45億97百万円）となりました。

（欧州）

部品供給問題の影響による生産台数の減少や、欧州地域の工場の閉鎖並びに拠点解散に伴い売上が減少したため、売上高は84億31百万円と前年同四半期比56億90百万円の減収（△40.3%）となり、セグメント損失は7億19百万円（前年同四半期はセグメント損失9億80百万円）となりました。

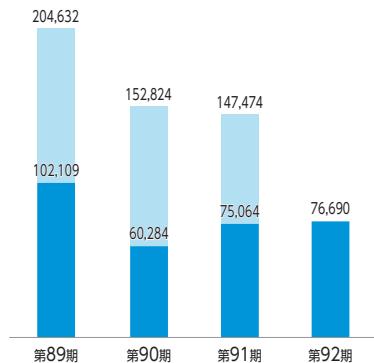
（アジア）

昨年と比較し、部品供給問題の影響による生産台数の減少により、売上高は127億75百万円と前年同四半期比7億51百万円の減収（△5.6%）となり、セグメント利益は15億97百万円と前年同四半期比1億99百万円の減益（△11.1%）となりました。

財務ハイライト (連結)

売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)



営業利益 / 通期営業利益率

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)
● 通期営業利益率



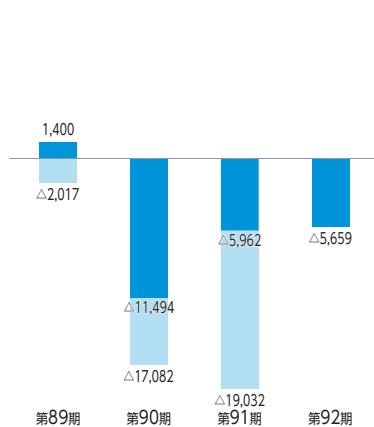
経常利益 / 通期経常利益率

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)
● 通期経常利益率



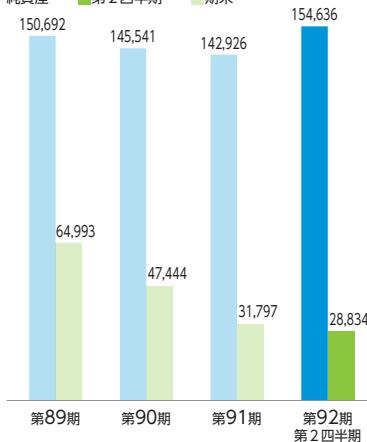
親会社株主に帰属する当期純利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)



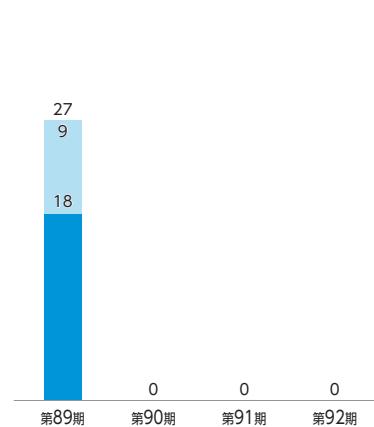
総資産 / 純資産

■ 第2四半期 ■ 期末 (単位: 百万円)
■ 第2四半期 ■ 期末



配当金

■ 中間 ■ 期末 (単位: 円)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	第92期第2四半期 2022年9月30日	第91期 2022年3月31日
(資産の部)		
流動資産	88,572	80,824
固定資産	66,063	62,102
有形固定資産	54,688	50,990
無形固定資産	259	401
投資その他の資産	11,115	10,710
資産合計	154,636	142,926
(負債の部)		
流動負債	102,436	82,915
固定負債	23,365	28,214
負債合計	125,802	111,129
(純資産の部)		
株主資本	17,490	23,150
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,652	5,652
利益剰余金	6,552	12,211
自己株式	△535	△535
その他の包括利益累計額	1,650	△816
非支配株主持分	9,693	9,463
純資産合計	28,834	31,797
負債純資産合計	154,636	142,926

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	第92期第2四半期累計 自2022年4月1日 至2022年9月30日	第91期第2四半期累計 自2021年4月1日 至2021年9月30日
売上高	76,690	75,064
売上原価	76,394	71,178
売上総利益	296	3,886
販売費及び一般管理費	8,450	8,281
営業損失 (△)	△8,154	△4,394
営業外収益	2,149	1,376
営業外費用	551	304
経常損失 (△)	△6,555	△3,323
特別利益	2,869	5
特別損失	37	1,428
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,723	△4,746
法人税、住民税及び事業税	1,079	1,201
法人税等調整額	301	△568
四半期純損失 (△)	△5,104	△5,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	555	583
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,659	△5,962

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	第92期第2四半期累計 自2022年4月1日 至2022年9月30日	第91期第2四半期累計 自2021年4月1日 至2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,554	6,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,612	△2,238
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,973	△4,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,494	1,399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,526	1,609
現金及び現金同等物の期首残高	26,042	19,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,568	21,103

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

トピックス

1. 東風本田汽車有限公司より「深耕易耨」賞を受賞

当社の子会社である東風河西（武漢）頂飾系統有限公司は、東風本田汽車有限公司（Dongfeng Honda Automobile Co., Ltd.）より、2018年の「供給賞」、2019年・2020年の「品質賞」に続き、優秀サプライヤー賞である「深耕易耨」賞を受賞いたしました。

この成果が認められ、新たに2車種の受注を獲得し、東風本田のメインサプライヤーになることができました。

当社は、今後もお客様の多様なご期待に応えられるよう努力し、取引の拡大を目指してまいります。



受賞トロフィー

2. 新しい自動車内装イルミネーション

シンプルでありながら力強かつモダンな表現で、日本の美意識を表現する方法として、2022年に発売された新型EVでは、和を表現する組子柄構造をもったイルミネーションが採用されました。

イルミネーションは、光が柄を通して前方から後方へ均一なグラデーションで減光するよう繊細に調整しております。

この新しい表現のイルミネーションは、当社の内装設計技術と光学設計技術の融合により実現いたしました。

当社は、これからも新しい自動車内装価値の創造に取り組み、お客様に提供してまいります。



3. サステナビリティへの取り組み：生産設備の3R

当社は、企業活動における環境負荷を低減するための様々な活動に取り組んでおります。その一環として、製品やその材料だけにとどまらず、生産設備の3R（Reduce・Reuse・Rebuild）に取り組んでおります。

役目を終えた製造ラインを分解調査し、利用可能な部品を新規製造ラインの一部や、補修部品として活用することで、コスト削減と廃棄物削減に貢献しております。

当社は、これからも、ものづくり企業としての社会的責任を果たしてまいります。



活用へ向け待機中の生産設備部品群
(富士宮事業所)

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	河西工業株式会社
事業	自動車内外装部品の製造・販売及びこれに付帯する一切の事業
創業年月	1912年1月
設立年月	1946年10月
資本金	58億21百万円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
従業員数	単独614名 連結8,199名

事業所

本社 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地

富士宮事業所 静岡県富士宮市北山4839-24

子会社 国内3社 海外15社

関連会社 国内2社 海外5社

役員

代表取締役社長 社長役員	渡邊 邦 幸
取締役 副社長役員	山根 利 公
取締役 専務役員	山道 昇 一
取締役 専務役員	半谷 勝 二
取締役	結川 孝 一※
取締役	児玉 幸 信※
取締役	三原 康 弘※
取締役 監査等委員	伊豆野 学※
取締役 監査等委員	横山 和 彦※
取締役 監査等委員	城戸 和 弘※

(注) ※印は社外取締役であります。

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 127,695,000株

発行済株式の総数 39,511,728株
(うち自己株式663,235株)

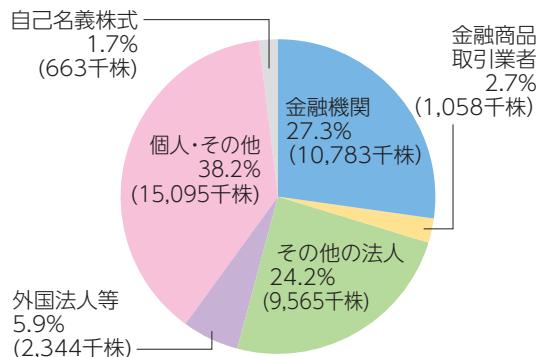
株主数 20,270名

大株主（上位5名）

株主名	持株数	持株比率
長瀬産業株式会社	5,404千株	13.9%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	2,977千株	7.6%
株式会社りそな銀行	1,825千株	4.7%
株式会社タチエス	1,692千株	4.3%
河西工業取引先持株会	1,475千株	3.8%

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株 主 メ モ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL: 0120-232-711
(通話料無料)

郵送先: 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所

公 告 の 方 法 電子公告
(<https://www.kasai.co.jp/>)
やむを得ない事由によって電子
公告による公告ができない場合
は、日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●ホームページのご案内

企業活動全般の情報や決算発表資料等を
適時掲載しておりますので、是非ご活用
ください。

<https://www.kasai.co.jp/>



株主総会資料の電子提供制度に関する お問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル

 **0120-696-505**

(受付時間: 土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

よくあるご質問

 <https://www.tr.mufj.jp/daikou/denshi.html>

もしくは株主様の口座がある証券
会社等にお申し出ください。



QRコードはこちら➡

KASAI KOGYO CO., LTD.

**UD
FONT**